



Houseplants,

観葉植物と
くらす



観葉植物とは

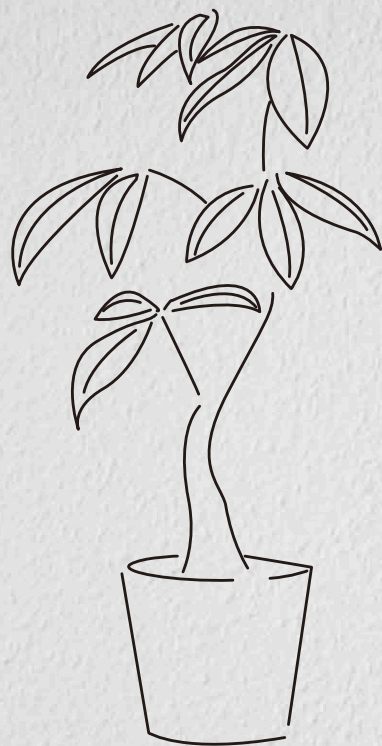
観葉植物はお部屋のインテリアとして楽しむものが多いですね。観葉植物とはそもそもなんでしょう。一般的に言われているのは、「観葉植物とは、植物の葉の形・大きさ・色・模様などを見て楽しむ栽培植物」ということです。

観葉植物の種類は豊富です。熱帯から亜熱帯原産の常緑の植物や、それらの園芸品種をさす場合が多いです。しかし近年は品種改良がすすみ、様々な植物が室内観葉として流通している現状があります。

観葉植物の歴史

西洋では昔から観葉植物のような1年中緑である植物は、「繁栄」や「長寿」の象徴として庭園で使用されることが主でした。産業革命が起こり、ガラス・鉄材が普及されるようになりました。それにともなって、温室が多く作られるようになり観葉植物の種類が一気に増えたと言われています。その時代は一般家庭でも室内の環境が良くなり、インテリアとして植物が育てやすくなったのです。また、ヴィクトリア朝ロンドンにおいて、光化学スモッグの影響で環境が汚染されました。それで室内の緑が重要視される傾向が高まったのも、観葉植物が育てられるようになった理由の一つです。





植物名 パキラ

パキラは中南米が原産の常緑高木で、観葉植物としては20～2mほどの大きさで楽しまれていますが、本来は7～15mにも成長する植物です。そのため生育旺盛で成長スピードも早く、育て方次第では1年で20～30cm伸びることもあります。

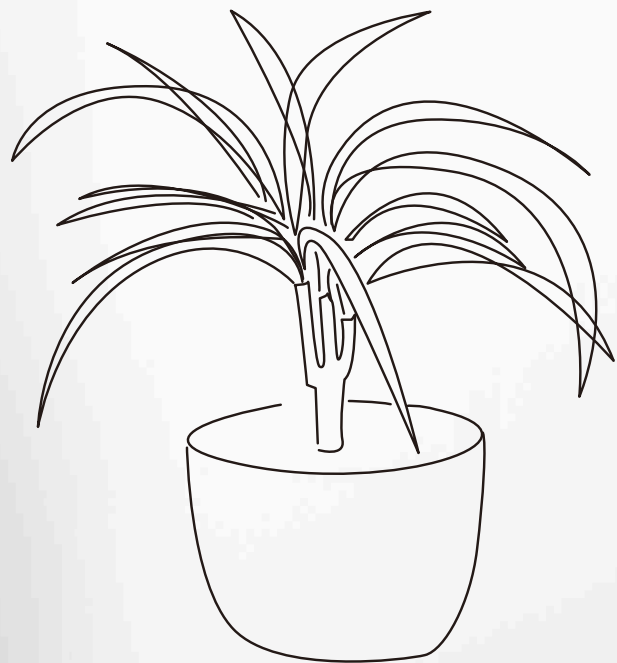




植物名 サンスベリア

サンスベリアは、別名「トラの尾」とも呼ばれ、縞模様で剣のような形状をした品種が代表的な植物です。空気清浄効果があると言われており、オフィスや個人宅のインテリアに選ばれています。明るく、日光が当たる場所を好み、乾燥に強いのが特徴です。





植物名 ドラセナ

アフリカ熱帯地域が原産の植物であるドラセナは、室内で楽しむ観葉植物として知られています。シャープな形の葉が特長で、色や形、大きさなどバリエーションが豊富。強くて丈夫なので比較的育てやすく、園芸初心者にも人気があります。





植物名 ガジュマル

沖縄地方では「キジムナー」と呼ばれる精霊が宿るといわれています。ガジュマルは熱帯~亜熱帯地方に分布する常緑高木なので暖かくて日光のある場所を好みます。日光にあてること、水のやり方には気を配る必要がありますが、基本的には育てやすい観葉植物です。

おわりに

観葉植物とは何かについて一緒に見てきました。いかがでしたか。観葉植物とは葉やその色合いを楽しみ、自然な雰囲気を醸し出してくれる植物です。この場合インテリアとしても、優れています。観葉植物とは歴史的に見ても意味ある植物でしたね。また、観葉植物を飾る良さは風水としてだけではなく、科学的にも表れていました。さらに観葉植物とは、一般的な室内植物だけでなく食虫植物のようなものがあったりして、私たちが思っているものより意外なものがあることが分かりました。様々な観葉植物の楽しみ方があるのですね。

<https://www.pexels.com/ja-jp/search/%E8%A6%B3%E8%91%89%E6%A4%8D%E7%89%A9/>
<https://jp.freepik.com/photos/%E8%A6%B3%E8%91%89%E6%A4%8D%E7%89%A9/>



植物名 モンステラ

モンステラはつる性の着生植物で、原生地では、付着根で樹木やヤシ類などに這い上がって伸びていきます。深い切れ込みや穴がある葉形が独特なので人気があり、小鉢から大鉢仕立てまでいろいろなサイズで楽しめます。



Designed by D.Hanai